

- 工事番号 第52号
- 1 工事名 ひばり野公園クレイテニスコート改修工事
- 2 工事場所 五戸町大字豊間内字地蔵平 地内
- 3 工期 発注者が本契約を成立させる旨の意思表示をした日から
令和6年3月31日 まで
- 4 引渡し の 時期 検査に合格した旨の通知を受けた日から14日以内
- 5 請負代金額 ¥0-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥0-)
- 6 契約保証金 本契約後、押印するためこの部分の高さの調整はしないこと。
- 7 建設発生土の搬出先等 建設発生土の搬出先について仕様書に定めるとおり
- 8 特定建設資材に係る分別解体等
- | | |
|----------------|------------|
| (1)解体工事に関する費用等 | ¥0- |
| (2)再資源化等に要する費用 | ¥0- |
| (3)分別解体等の方法 | 別紙のとおり |
| (4)再資源化等をする施設の | 名称 別紙のとおり |
| | 所在地 別紙のとおり |
- 9 住宅建設瑕疵担保責任保険
- | | |
|------------|-------|
| (1)保険法人の名称 | 対 象 外 |
| (2)保険金額 | 対 象 外 |
| (3)保険期間 | 対 象 外 |
- 10 その他

上記の工事について、発注者と受注者、次のとおり仮契約を締結した。

(工事請負の予約)

第1条 上記の工事について、発注者及び受注者は、別紙の約款（ただし、第3(A)、3(B)、4(B)、24(A)、25-3(A)、29-5(A)、34、35、36、37、38-3(A)、41(A)、44、48-6(B)条を除く。）に定める内容の契約を締結することを予約した。

(本契約の成立)

第2条 発注者は、前条の工事の請負に係る契約の締結について五戸町議会の議決を経た場合は、本契約を成立させる旨の意思表示をするものとし、その意思表示により、別紙条項を内容とする本契約は、締結されたものとする。

(協議事項)

第3条 この契約書に定めのない事項及び疑義の生じた事項については、当事者協議して定めるものとする。

この契約の成立を証するため、この契約書を2通作成し、当事者記名押印し、各自その1通を保有するものとする。

令和5年9月11日

発注者 青森県三戸郡五戸町字古館21番地1
五戸町長 若 宮 佳 一

受注者 ○○・△△特定建設工事共同企業体
代表者 あいうえお株式会社
住所 五戸町字古館555-5
氏名 代表取締役 五戸太郎

印

受 注 者 の 構 成 員

共同企業体の名称 ○○・△△特定建設工事共同企業体

共同企業体の構成員

所在地 五戸町字古館555-5
商号又は名称 あいうえお株式会社
代表者名 代表取締役 五戸太郎 印

共同企業体の構成員

所在地 五戸町字○○1-1
商号又は名称 かきくけこ有限会社
代表者名 代表取締役 五戸次郎 印

共同企業体の構成員

所在地 五戸町大字倉石中市字○○○100-100
商号又は名称 さしすせそ株式会社
代表者名 代表取締役 倉石花子 印

仲 裁 合 意 書

工 事 名 ひばり野公園クレイテニスコート改修工事

工 事 場 所 五戸町大字豊間内字地藏平 地内

令和5年9月11日に締結した上記建設工事の請負仮契約に関する紛争については、発注者及び受注者は、下記の建設工事紛争審査会の仲裁に付し、その仲裁判断に服する。

管轄審査会名 青森県建設工事紛争審査会

令和5年9月11日

発注者 青森県三戸郡五戸町字古館21番地1
五戸町長 若 宮 佳 一

受注者 ○○・△△特定建設工事共同企業体
代表者 あいうえお株式会社
住所 五戸町字古館555-5
氏名 代表取締役 五戸太郎 印

共同企業体の構成員
所在地 五戸町字古館555-5
商号又は名称 あいうえお株式会社
代表者名 代表取締役 五戸太郎 印

共同企業体の構成員
所在地 五戸町字○○1-1
商号又は名称 かきくけこ有限会社
代表者名 代表取締役 五戸次郎 印

共同企業体の構成員
所在地 五戸町大字倉石中市字○○○100-100
商号又は名称 さしすせそ株式会社
代表者名 代表取締役 倉石花子 印

仲裁合意書について

1 仲裁合意について

仲裁合意とは、裁判所の訴訟に代えて、紛争の解決を仲裁人に委ねることを約する当事者間の契約である。

仲裁手続によってなされる仲裁判断は、裁判上の確定判決と同一の効力を有し、たとえその仲裁判断の内容に不服があっても、その内容を裁判所で争うことはできない。

2 建設工事紛争審査会について

建設工事紛争審査会（以下「審査会」という。）は、建設工事の請負契約に関する紛争の解決を図るため建設業法に基づいて設置されており、同法の規定により、あっせん、調停及び仲裁を行う権限を有している。また、中央建設工事紛争審査会（以下「中央審査会」という。）は国土交通省に、青森県建設工事紛争審査会（以下「青森県審査会」という。）は青森県に設置されている。

審査会の管轄は、原則として、受注者が、国土交通大臣の許可を受けた建設業者であるときは中央審査会、青森県知事の許可を受けたときは、青森県審査会であるが、当事者の合意によって管轄審査会を定めることもできる。

審査会による仲裁は、三人の仲裁委員が行い、仲裁委員は、審査会の委員又は特別委員のうちから当事者が合意によって選定した者につき、審査会の会長が指名する。

また、仲裁委員のうち少なくとも一人は、弁護士法の規定により弁護士の資格を有する者である。

なお、審査会における仲裁手続は、建設業法に特別の定めがある場合を除き、仲裁法の規定が適用される。